

令和5年度補正果樹農業強靱化緊急対策（花粉供給緊急対策事業）結果報告書

徳島県農業協同組合
鳴門営農経済センター

中国産梨花粉の輸入停止に伴い、管内で不足する授粉用花粉を補うため、下記のとおり取り組んだ。

1. 花粉確保の体制構築

○梨花粉の確保に係る検討会

- ・令和5年12月20日（水）
 - 1.花粉の確保予定状況について
 - 2.剪定枝を利用した花粉の確保について
 - 3.次年度以降の確保について（低樹高栽培、接ぎ木等）
- ・令和6年3月13日（水）
 1. 剪定枝の加温による花粉の確保について
 2. 次年度以降の花粉の確保について

○花粉確保への取り組み

- ・剪定枝を共同採取する園地の借り上げを行い、共同園地より剪定枝を採取し、加温設備へ搬入。加温により開花促進させ開花した花を採花・採葯し、開葯・精選。
- ・生産者が自家採取した剪定枝を加温設備へ搬入し、加温により開花促進させ開花した花を採花・採葯し、開葯・精選。

2. 花粉生産技術実証及び共同調製・共同採取の取組内容並びに結果

借り上げ園地からの共同採取については、約3,400本の剪定枝が採取され、また、すでに開花していた花の採花により、合計で約1,087gの粗花粉が採れた。このうち粗花粉142gは純花粉21gに精製されたが、発芽率等の観点から、残りは精製せず粗花粉の状態を生産者へ配布した。また、生産者各自が自家採取した剪定枝については、1,747本が持ち込まれ、約830gの粗花粉が採れた。



○借り上げた共同園地（幸水）



○加温設備にて開花促進



○採花・採薬作業

○開薬室にて薬を開かせ花粉の採取



○花粉精選機及び有機溶媒（アセトン）にて精選された純花粉

以上の取り組みにより、当初計画で不足する花粉量を純花粉 355g（粗花粉換算：1911g）と想定したのに対し、確保された粗花粉量は 1917g であり、必要とされる花粉量を補うことができ、粗花粉の授粉先として約 7 割が幸水、3 割が豊水となった。また、園地の着果状況を確認したところ、概ね例年どおりの着果状況であり花粉不足の影響はなかった。